



11/21 Dify Enterprise on AWSセミナー

Dify on AWS の選択肢

～Why Dify on AWS ?～

関谷 侑希

Solutions Architect

Amazon Web Services Japan G.K.

アジェンダ

1. AWSでDifyを構築する選択肢
2. それぞれのメリット

Dify を利用するときの選択肢

セルフホスト：自社環境に構築

① OSS 版を単体の VM 上に起動

② OSS 版をマネージドサービス上に起動

③ Enterprise 版を Kubernetes 上に起動

SaaS 版を利用 (Dify Cloud)

- Dify のバージョンを指定できる
- 自社システムと閉域接続可能
- 企業内での利用
社内提供に向く

- Dify のバージョンは常に最新
- 自社システムとの接続はインターネット

Dify on AWS の選択肢

セルフホスト on AWS

- ① OSS 版を単体の EC2 上に起動
- ② OSS 版をマネージドサービス上に起動
(ECS、RDS、etc)
- ③ Enterprise 版を EKS 上に起動

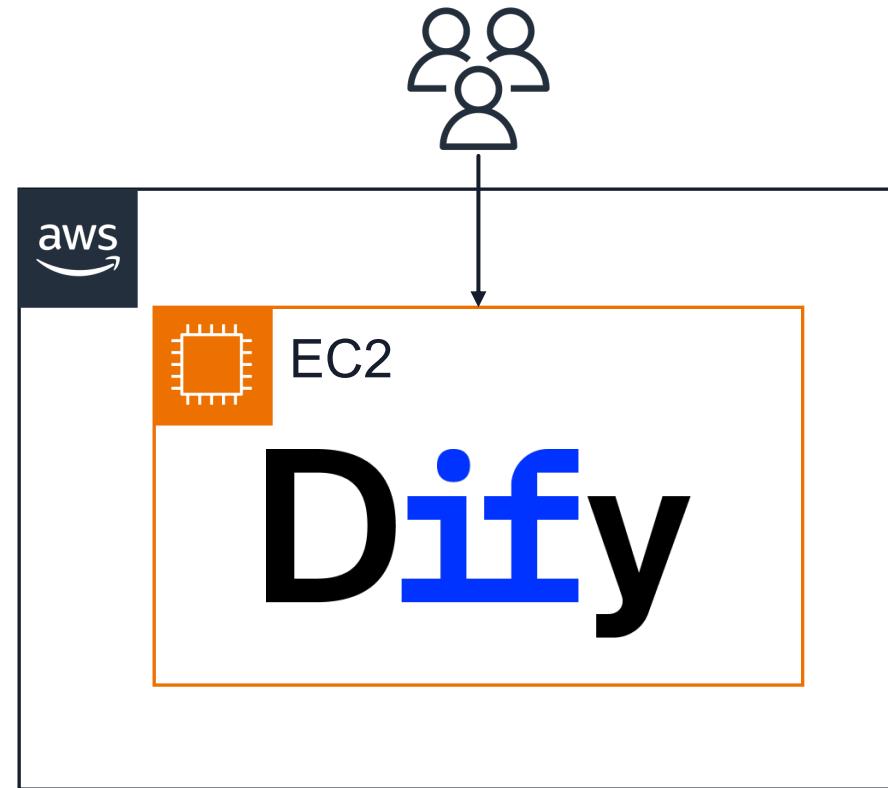
Dify on AWS の選択肢 ① EC2 単体

セルフホスト on AWS

① OSS 版を単体の EC2 上に起動

② OSS 版をマネージドサービス上に起動
(ECS、RDS、etc)

③ Enterprise 版を EKS 上に起動



Pros

- ・ シンプルで安価

Cons

- ・ 冗長構成なし
- ・ 簡素なセキュリティ
- ・ VM 管理が必要

Dify on AWS の選択肢 ② マネージドサービス

セルフホスト on AWS

- ① OSS 版を単体の EC2 上に起動
- ② OSS 版をマネージドサービス上に起動 (ECS、RDS、etc)

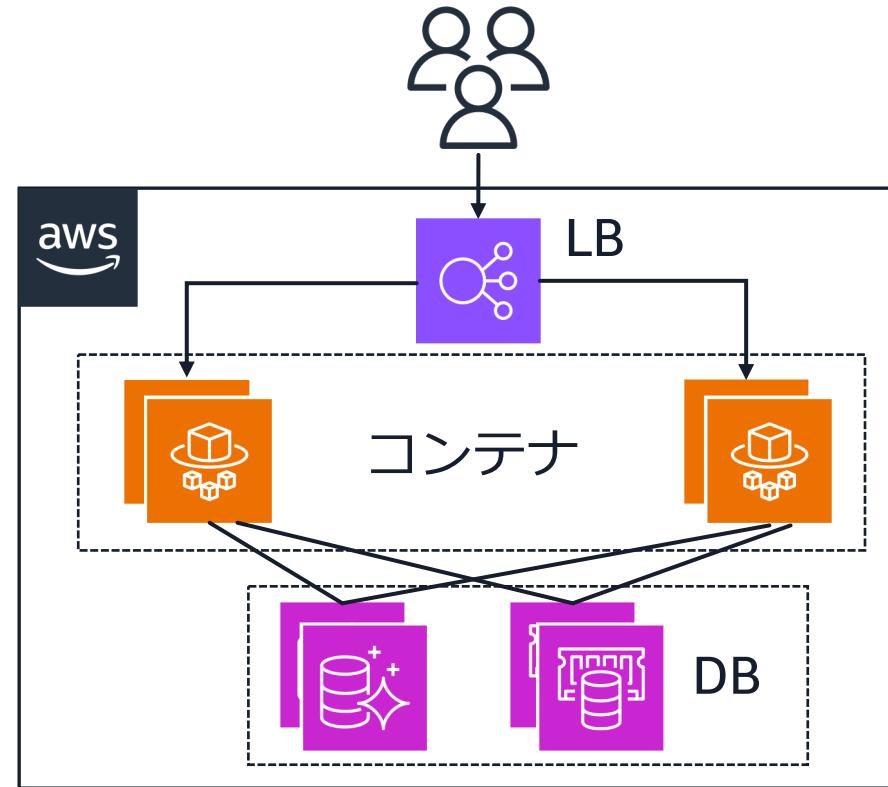
- ③ Enterprise 版を EKS 上に起動

Pros

- ・冗長構成あり
- ・インフラセキュリティ
- ・VM 管理不要

Cons

- ・①より費用微増
- ・マルチテナント等の高度なガバナンス無



Dify on AWS の選択肢 ③ Enterprise 版 on EKS

セルフホスト on AWS

① OSS 版を単体の EC2 上に起動

② OSS 版をマネージドサービス上に起動
(ECS、RDS、etc)

③ Enterprise 版を EKS 上に起動

Pros

- ② に加えて、ワークスペース・SSO の高度なセキュリティ

Cons

- インフラ費用・ライセンス費用

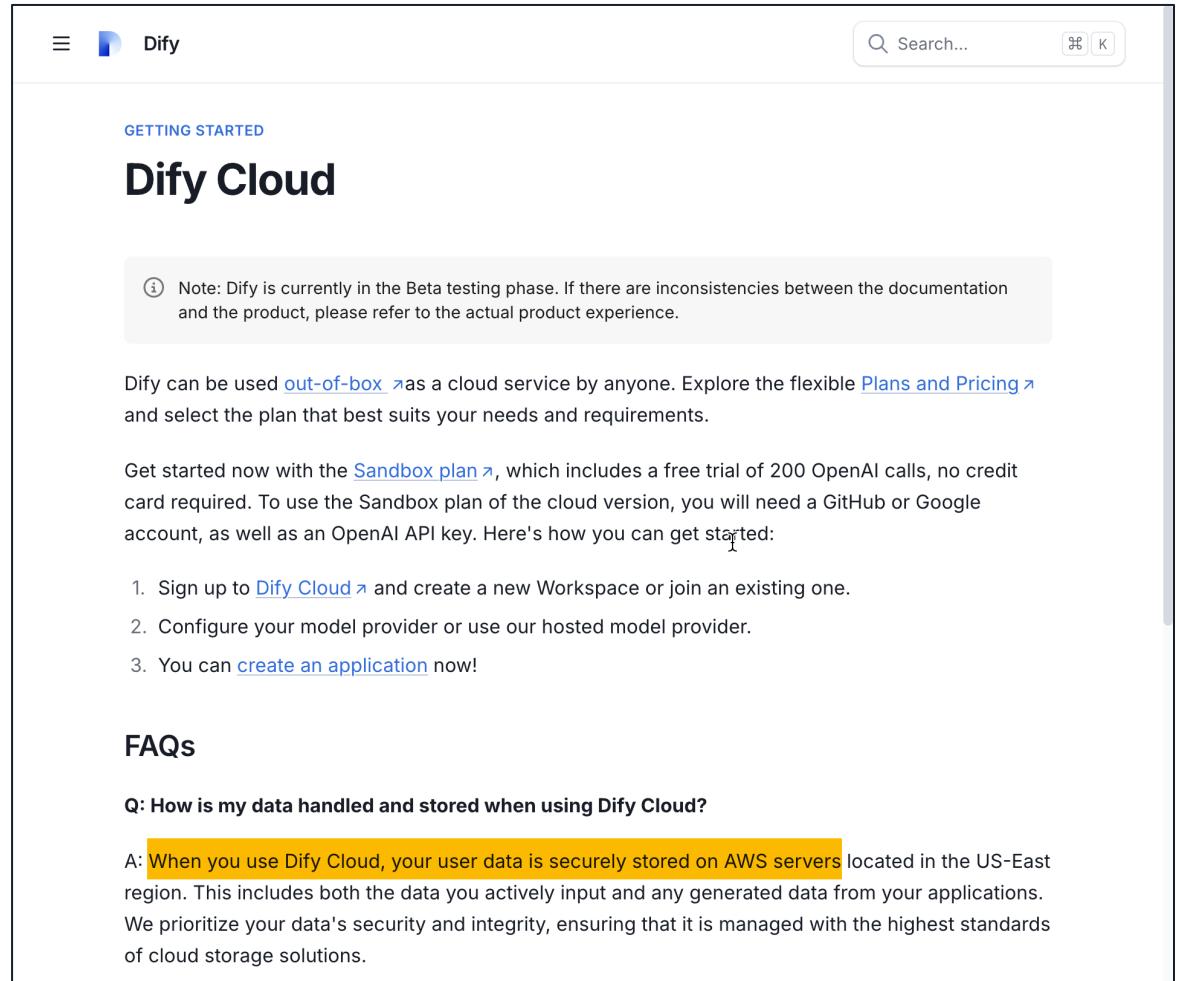


Dify をホストするなら



なぜ Dify on AWS なのか？(1) 実績

SaaS 版の Dify Cloud は
AWS 上で稼働している
= 最も強固な実績がある



The screenshot shows the 'Getting Started' page for Dify Cloud. The page has a header with the Dify logo and a search bar. Below the header, there's a 'GETTING STARTED' section with the heading 'Dify Cloud'. A note states: 'Note: Dify is currently in the Beta testing phase. If there are inconsistencies between the documentation and the product, please refer to the actual product experience.' The main content explains that Dify can be used as a cloud service by anyone, mentioning the 'Plans and Pricing' section. It also describes the 'Sandbox plan', which includes a free trial of 200 OpenAI calls and requires a GitHub or Google account and an OpenAI API key. Below this, a numbered list provides steps to get started: 1. Sign up to Dify Cloud and create a new Workspace or join an existing one. 2. Configure your model provider or use our hosted model provider. 3. You can create an application now! At the bottom, there's a 'FAQs' section with a question about data handling and storage, and an answer explaining that user data is securely stored on AWS servers in the US-East region.

<https://docs.dify.ai/getting-started/cloud>



なぜ Dify on AWS なのか？(2) 構築用アセット

OSS 版の Dify のデプロイ用アセットが完備 = すぐ構築できる

① EC2 単体構成

CloudFormation で構築

- ・ シンプル・安価
- ・ 設定可能なセキュリティは簡素、冗長構成なし

ワークショップ の
手順でデプロイ

② マネージドサービス構成

AWS CDK で構築

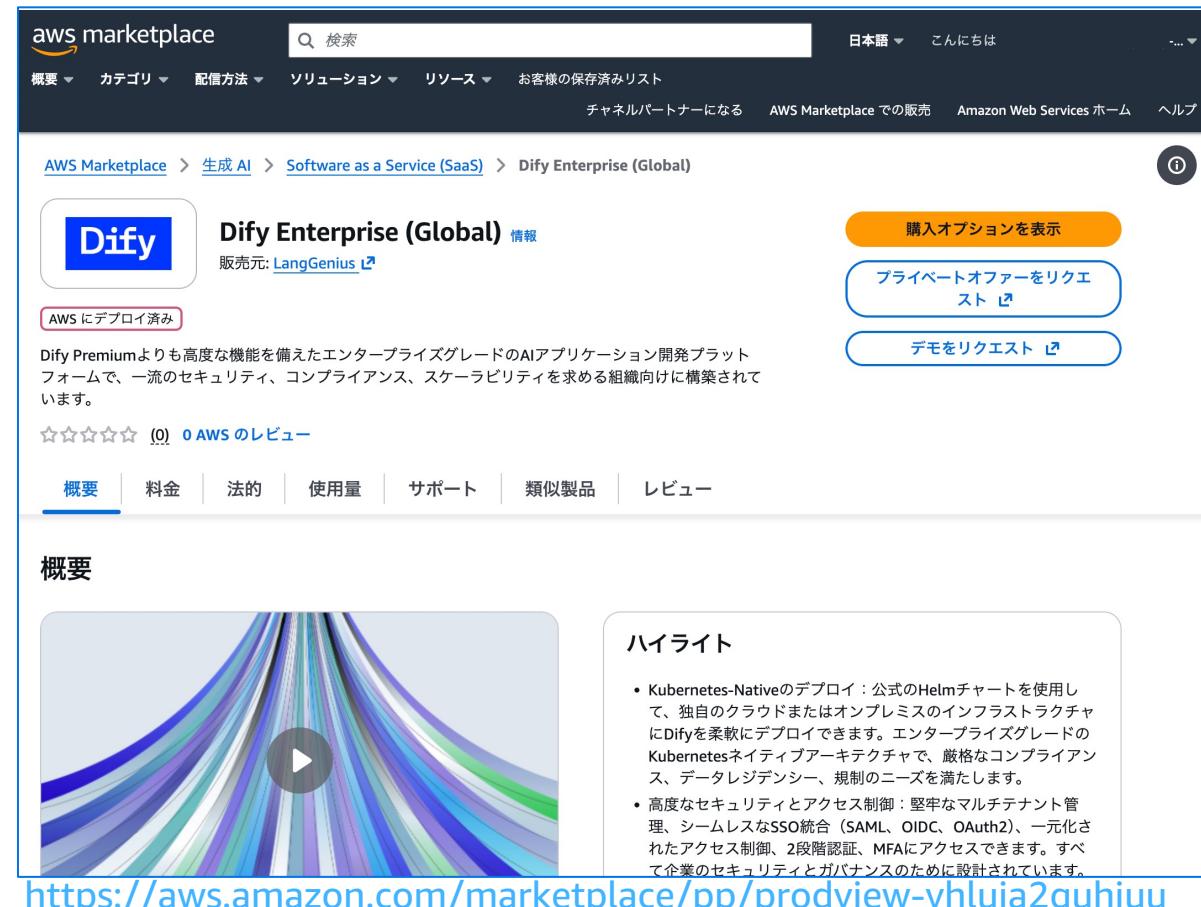
- ・ コンポーネントは多数あるが、コマンド一発で構築
- ・ 非機能要件を簡単に実現

aws-samples の
手順でデプロイ
1-click deploy もあり

なぜ Dify on AWS なのか？(3) Enterprise 版ライセンスを Marketplace で調達

AWS Marketplace 上で
Dify Enterprise ライセンスを調達可

ライセンス費とAWS インフラ費を
同一の請求にまとめ、管理を簡素化



aws marketplace

日本語 こんちは

AWS Marketplace > 生成 AI > Software as a Service (SaaS) > Dify Enterprise (Global)

Dify Enterprise (Global) 情報

販売元: LangGenius

AWS にデプロイ済み

Dify Premiumよりも高度な機能を備えたエンタープライズグレードのAIアプリケーション開発プラットフォームで、一流のセキュリティ、コンプライアンス、スケーラビリティを求める組織向けに構築されています。

★★★★★ (0) 0 AWS のレビュー

概要 料金 法的 使用量 サポート 類似製品 レビュー

概要

ハイライト

- Kubernetes-Nativeのデプロイ：公式のHelmチャートを使用して、独自のクラウドまたはオンプレミスのインフラストラクチャにDifyを柔軟にデプロイできます。エンタープライズグレードのKubernetesネイティブアーキテクチャで、厳格なコンプライアンス、データレジデンシー、規制のニーズを満たします。
- 高度なセキュリティとアクセス制御：堅牢なマルチテナント管理、シームレスなSSO統合（SAML、OIDC、OAuth2）、一元化されたアクセス制御、2段階認証、MFAにアクセスできます。すべて企業のセキュリティとガバナンスのために設計されています。

<https://aws.amazon.com/marketplace/pp/prodview-vhluiia2quhiuu>

まとめ

まとめ

Dify のデプロイの選択肢

① OSS 版
on EC2

② OSS on
マネージド
サービス

③ Enterprise
on EKS

セルフホスト on AWS

SaaS

Dify をセルフホストする際に AWS を使うメリット

① 実績

② デプロイ用アセット

③ Enterprise ライセンス調達

Thank You!

